

結果の概要

1 結婚の状況

(1) 第1回調査時の独身者の結婚状況

第1回調査時に独身であった者のこの7年間の結婚の状況をみると、男 29.8%、女 45.2%が結婚している。また、第1回に子どもをもつ意欲があった者の方が結婚した割合が高い

第1回調査(平成24年)時に独身であった者のうち、この7年間で結婚した割合は、男 29.8%、女 45.2%であり、独身者の割合は、男 70.2%、女 54.8%となっている(表1)。

また、第1回の子どものもつ意欲別にこの7年間の結婚の状況をみると、男女とも、「もちたい」と答えた者の方が「もてなくてもかまわない」「子どもは欲しくない」と答えた者より、この7年間で結婚した割合が高くなっている(図1)。

表1 第1回調査時に独身であった者の性、年齢階級別にみたこの7年間の結婚の状況

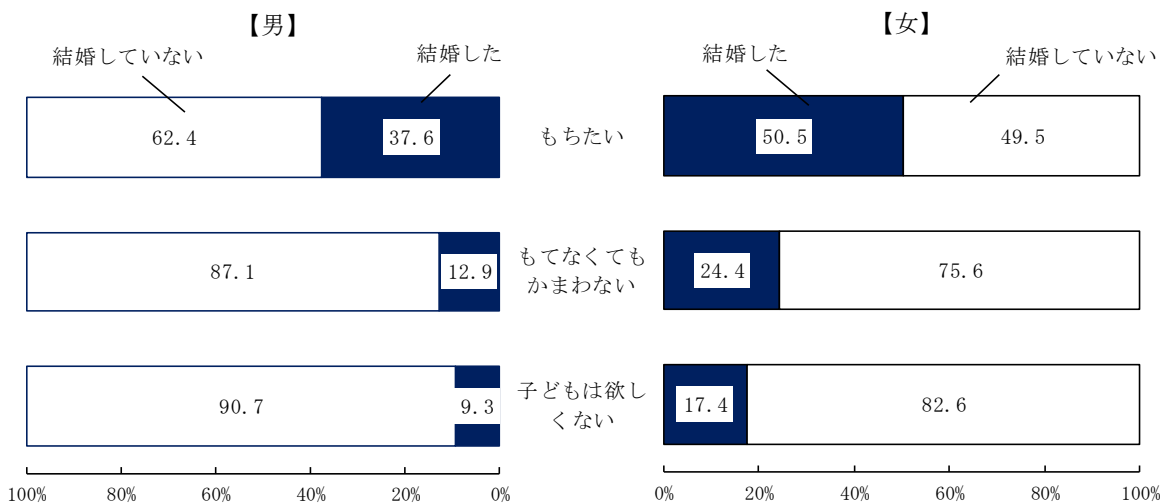
性 第1回の年齢階級 (第8回の年齢階級)	総数	結婚した ²⁾³⁾									結婚していない
		総数	第1回から 第2回間に 結婚	第2回から 第3回間に 結婚	第3回から 第4回間に 結婚	第4回から 第5回間に 結婚	第5回から 第6回間に 結婚	第6回から 第7回間に 結婚	第7回から 第8回間に 結婚		
男	(100.0)	100.0	29.8	4.3	3.8	4.6	3.9	4.2	4.3	4.7	70.2
20~24歳(27~31歳)	(47.2)	100.0	25.1	0.9	2.3	3.4	3.5	5.0	4.9	5.3	74.9
25~29歳(32~36歳)	(52.8)	100.0	34.0	7.4	5.1	5.7	4.4	3.5	3.8	4.1	66.0
女	(100.0)	100.0	45.2	7.1	7.6	6.8	6.8	6.3	5.9	4.7	54.8
20~24歳(27~31歳)	(49.4)	100.0	40.9	3.5	5.0	5.6	6.8	7.0	7.4	5.6	59.1
25~29歳(32~36歳)	(50.6)	100.0	49.4	10.6	10.1	8.0	6.8	5.7	4.4	3.8	50.6

注: 1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。

2) 7年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

3) 「結婚した」には、この7年間に、結婚した後離婚した者を含む。

図1 第1回調査時に独身であった者の性、子どもをもつ意欲別にみたこの7年間の結婚の状況



注: 1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。

2) 子どもをもつ意欲は第1回調査で、「もちたい」は「絶対にもちたい」「できればもちたい」と回答した者を、「子どもは欲しくない」は「今後、何人の子どものもちたいと考えていますか。」という質問に「0人」と回答した者を集計している。

3) 「結婚した」には、この7年間に、結婚した後離婚した者を含む。

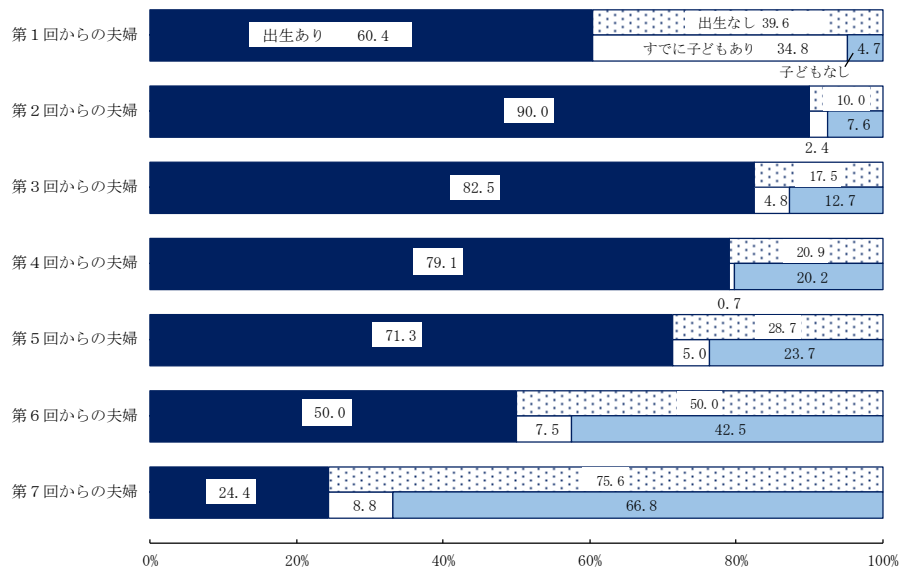
2 出生の状況

(1) この7年間の出生の状況

この7年間で、「第1回からの夫婦」では60.4%、「第2回からの夫婦」では90.0%、「第3回からの夫婦」では82.5%、「第4回からの夫婦」では79.1%、「第5回からの夫婦」では71.3%、「第6回からの夫婦」では50.0%、「第7回からの夫婦」では24.4%に子どもが生まれた

この7年間に子どもが生まれた割合は、第1回からの夫婦（第1回調査時ですでに結婚していた夫婦）60.4%、第2回からの夫婦90.0%、第3回からの夫婦82.5%、第4回からの夫婦79.1%、第5回からの夫婦71.3%、第6回からの夫婦50.0%、第7回からの夫婦24.4%となっている（図2）。

図2 夫婦におけるこの7年間の出生の状況



注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。

2) 「第1回からの夫婦」とは、第1回調査時ですでに結婚していた夫婦、「第2回からの夫婦」「第3回からの夫婦」「第4回からの夫婦」「第5回からの夫婦」「第6回からの夫婦」「第7回からの夫婦」とは、当該調査回に結婚したと回答があった夫婦を計上している。

(2) 独身時の希望子ども数と出生の状況

独身時の希望子ども数は、男女ともに「2人」だった割合が高い。また、男64.2%、女64.5%に子どもがいる

第1回調査時に独身で第8回調査時に既婚だった者の第1回の希望子ども数を性別にみると男女とも「2人」が多く、男では63.7%、女62.2%となっている。また、第8回調査時に「子どもあり」の割合は男64.2%、女64.5%となっており、希望子ども数が多いほど高い傾向となっている（表2）。

表2 第1回調査時に独身であった者の性、希望子ども数別にみた出生の状況

(単位：%)

		子ども数(第8回)							
		総数		子どもあり	子ども			子どもなし	
					1人	2人	3人以上		
希望子ども数(第1回)	男	総数	(100.0)	100.0	64.2	38.2	23.4	2.6	35.8
	0人	(4.6)	100.0	58.6	51.7	6.9	-	41.4	
	1人	(7.0)	100.0	56.8	43.2	11.4	2.3	43.2	
	2人	(63.7)	100.0	63.6	36.7	24.6	2.3	36.4	
	3人	(21.1)	100.0	71.2	39.4	27.3	4.5	28.8	
	女	総数	(100.0)	100.0	64.5	37.3	24.3	2.9	35.5
	0人	(3.8)	100.0	30.0	16.0	12.0	2.0	70.0	
1人	(5.4)	100.0	52.9	35.7	14.3	2.9	47.1		
2人	(62.2)	100.0	66.1	39.6	24.4	2.1	33.9		
3人	(27.2)	100.0	68.3	35.7	27.5	5.1	31.7		

注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。

2) 「総数」には第1回の希望子ども数不詳を含む。

(3) 夫の休日の家事・育児時間と出生の状況

子どもがいる夫婦は、夫の休日の家事・育児時間が長くなるほど、第2子以降の生まれる割合が高くなる傾向がある

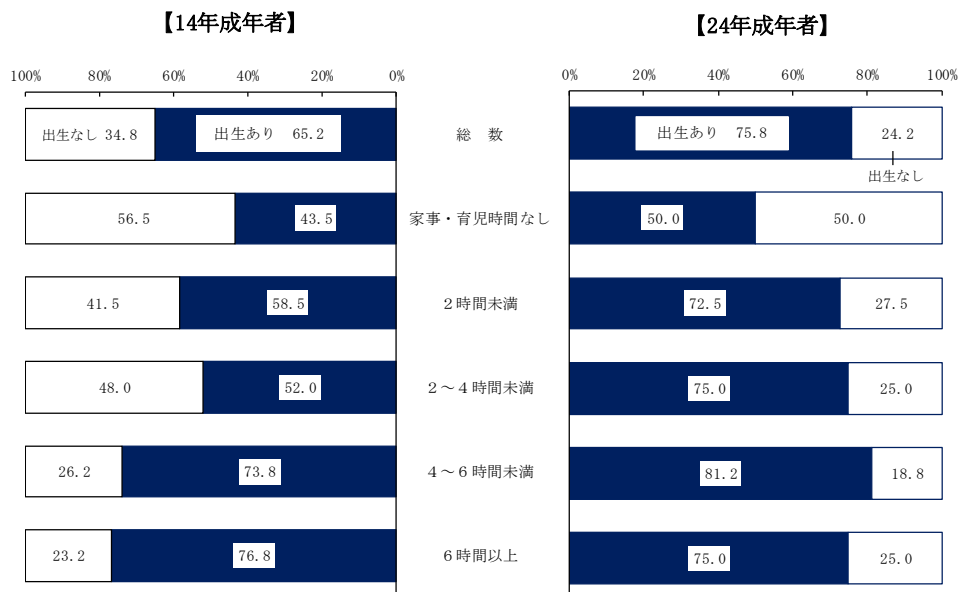
夫婦について、夫の休日の家事・育児時間別に、この7年間の出生状況をみると、子どもが1人以上いる夫婦では、「家事・育児時間なし」で50.0%、家事・育児時間ありでは7割以上で第2子以降が生まれており、14年成年者（第8回）と同様に、家事・育児時間が長いほど子どもが生まれる割合が高くなる傾向がある（表3、図3）。

表3 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの7年間の出生の状況

						(単位：%)					
		総数		子どもなしの夫婦		子ども1人以上の夫婦					
		出生あり	出生なし	第1子 出生あり	出生なし	第2子 以降 出生あり	出生なし				
夫の 家事・ 育児 時間	総数	(100.0)	100.0	62.5	37.5	100.0	51.8	48.2	100.0	75.8	24.2
	家事・育児時間なし	(5.1)	100.0	52.4	47.6	100.0	52.7	47.3	100.0	50.0	50.0
	2時間未満	(37.8)	100.0	52.8	47.2	100.0	49.8	50.2	100.0	72.5	27.5
	2～4時間未満	(21.7)	100.0	61.5	38.5	100.0	51.5	48.5	100.0	75.0	25.0
	4～6時間未満	(10.7)	100.0	76.0	24.0	100.0	57.9	42.1	100.0	81.2	18.8
	6時間以上	(20.9)	100.0	74.3	25.7	100.0	54.5	45.5	100.0	75.0	25.0

- 注： 1)集計対象は、9頁「参考」を参照。
 2)家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第7回調査時の状況である。
 3)「子どもなしの夫婦」「子ども1人以上の夫婦」は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第7回調査時の状況である。
 4)7年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
 5)家事・育児時間の「総数」には、家事・育児時間不詳を含む。

図3 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの7年間の第2子以降の出生の状況
【14年成年者・24年成年者】



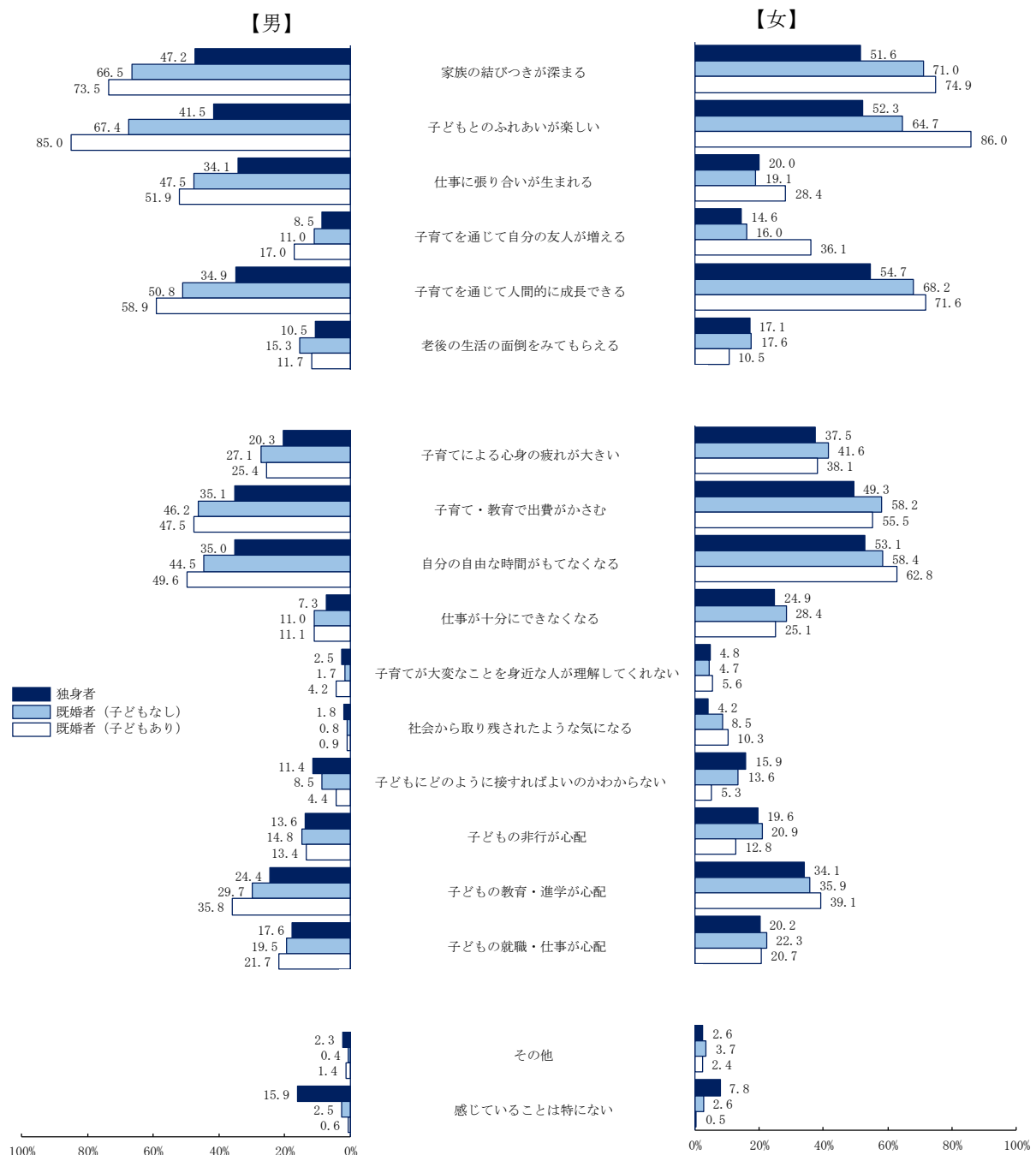
- 注： 1)集計対象は、9頁「参考」を参照。
 2)家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第7回調査時の状況である。
 3)7年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
 4)「総数」には、家事・育児時間不詳を含む。

(4) 子ども観

独身者、既婚者（子どもなし）、既婚者（子どもあり）で子ども観の割合の差が男女ともに大きいのは、「家族の結びつきが深まる」「子どもとのふれあいが楽しい」「子育てを通じて人間的に成長できる」となっている

第8回調査の独身者、既婚者（子どもなし）、既婚者（子どもあり）別に、子ども観の割合の差をみると、男女ともに差が大きいのは、「家族の結びつきが深まる」「子どもとのふれあいが楽しい」「子育てを通じて人間的に成長できる」となっており、男では「仕事に張り合いが生まれる」の差も大きくなっている。特に、男女ともに「子どもとのふれあいが楽しい」の差が大きい。（図4）

図4 性、独身者・既婚者（子どもの有無）別にみた子ども観（複数回答）



3 就業の状況

(1) 結婚前後の就業状況の変化と出産後の就業継続意欲

結婚前後とも「仕事あり」の割合は、男 99.2%、女 81.9%。また、結婚前に「仕事あり」で結婚後に「仕事なし」に変化した割合は、男 0.3%、女 17.8%と、女性の方が「仕事なし」に変化した割合が高い

第1回調査時に独身でこの7年間に結婚した者について、結婚前後の就業状況の変化をみると、結婚前に「仕事あり」で結婚後も「仕事あり」の割合は、男 99.2%、女 81.9%、結婚前に「仕事あり」で結婚後に「仕事なし」に変化した割合は、男 0.3%、女 17.8%となっており、女性の方が男性より、「仕事なし」に変化した割合が高くなっている（表4）。

また、結婚前後とも「仕事あり」の女について、結婚前後の出産後の就業継続意欲をみると、「出産した後も続ける」の割合は、結婚前 42.0%、結婚後 57.1%となっている（図5）。

表4 第1回調査時に独身でこの7年間に結婚した者の性、仕事の有無・就業形態別にみた結婚前後の状況

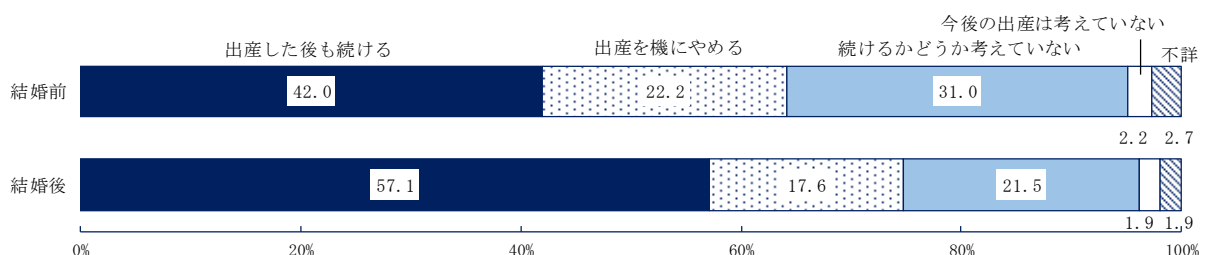
性 結婚前の仕事の有無・就業形態	総数	結婚後の仕事の有無・就業形態										
		仕事あり	会社などの役員・自営業主	自家営業の手伝い	自宅での賃仕事(内職)	正規の職員・従業員	アルバイト・パート	労働者派遣事業所の派遣社員	契約社員・嘱託	その他	仕事なし	
男	(100.0)	100.0	98.6	5.2	2.0	0.3	84.8	1.4	0.3	1.8	1.2	0.8
仕事あり	(97.0)	100.0	99.2	5.2	2.0	0.3	85.5	1.3	0.3	1.7	1.1	0.3
会社などの役員・自営業主	(5.0)	100.0	100.0	60.6	-	-	33.3	3.0	-	-	-	-
自家営業の手伝い	(2.1)	100.0	100.0	7.1	71.4	-	21.4	-	-	-	-	-
自宅での賃仕事(内職)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
正規の職員・従業員	(79.7)	100.0	99.2	1.5	0.2	0.2	94.6	0.2	-	1.0	0.2	0.4
アルバイト・パート	(2.1)	100.0	100.0	7.1	-	-	42.9	35.7	-	7.1	7.1	-
労働者派遣事業所の派遣社員	(0.5)	100.0	100.0	-	-	-	-	-	66.7	33.3	-	-
契約社員・嘱託	(3.0)	100.0	100.0	5.0	-	-	60.0	5.0	-	20.0	5.0	-
その他	(1.1)	100.0	100.0	-	-	-	57.1	-	-	-	42.9	-
仕事なし	(2.9)	100.0	78.9	5.3	-	-	57.9	5.3	-	5.3	5.3	15.8
女	(100.0)	100.0	80.1	2.0	1.2	0.1	56.4	10.5	2.8	5.9	0.8	19.5
仕事あり	(94.4)	100.0	81.9	2.0	1.2	0.1	59.0	10.0	2.6	5.6	0.8	17.8
会社などの役員・自営業主	(2.3)	100.0	83.9	38.7	-	-	38.7	6.5	-	-	-	12.9
自家営業の手伝い	(0.6)	100.0	87.5	-	87.5	-	-	-	-	-	-	12.5
自宅での賃仕事(内職)	(0.2)	100.0	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	66.7
正規の職員・従業員	(67.5)	100.0	85.3	1.3	0.2	0.1	75.5	4.9	0.7	1.8	0.4	14.3
アルバイト・パート	(10.1)	100.0	66.7	0.7	1.4	-	9.4	46.4	2.9	5.8	-	33.3
労働者派遣事業所の派遣社員	(3.0)	100.0	68.3	2.4	-	-	7.3	4.9	43.9	7.3	-	31.7
契約社員・嘱託	(7.9)	100.0	76.9	-	1.9	-	14.8	12.0	5.6	38.9	2.8	23.1
その他	(0.5)	100.0	85.7	-	-	-	14.3	14.3	-	28.6	28.6	14.3
仕事なし	(4.6)	100.0	46.0	1.6	1.6	-	6.3	20.6	6.3	9.5	-	54.0

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)7年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

3)結婚前・結婚後の仕事の有無の「総数」「男」「女」には不詳を含み、「仕事あり」には就業形態不詳を含む。

図5 第1回調査時に独身でこの7年間に結婚した女性（仕事あり）の結婚前後の出産後の就業継続意欲



注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)7年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

3)結婚前・結婚後の「仕事あり」には就業形態不詳を含む。

4)仕事についているが学業が主である場合を除く。

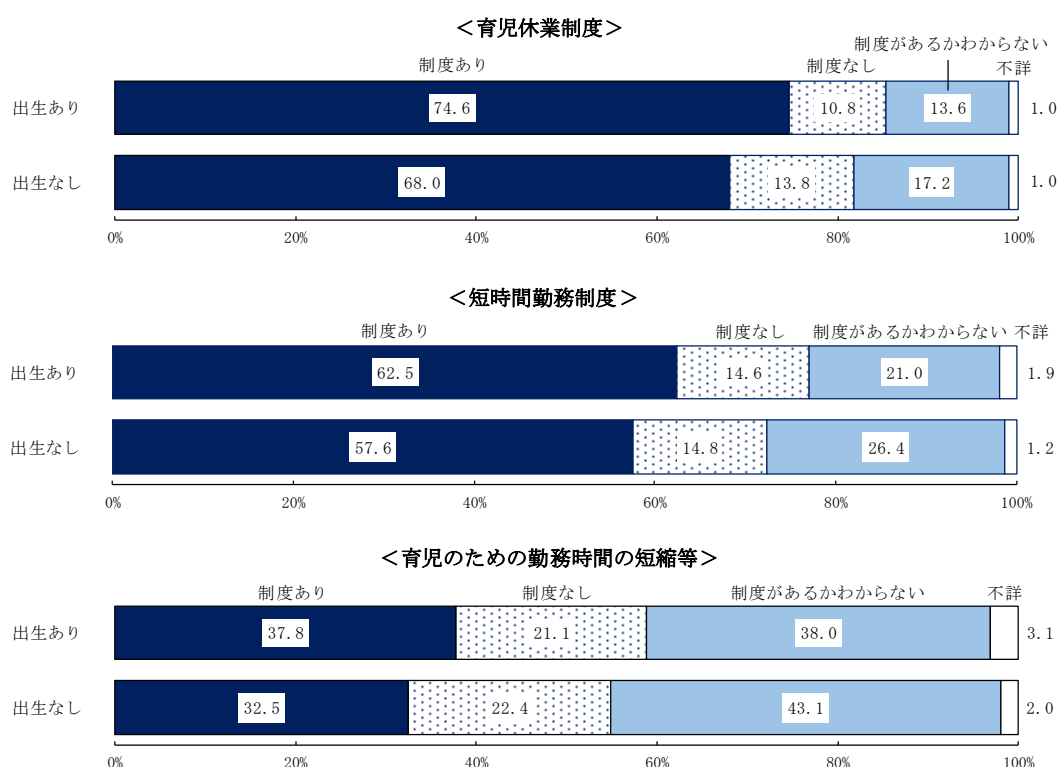
(2) 妻の職場の仕事と子育ての両立のための制度等の状況

妻の職場の「育児休業制度あり」の割合は、出生ありは74.6%、出生なしは68.0%となっている

この7年間の出生の状況別に、妻の職場の仕事と子育ての両立のための制度等の状況をみると、育児休業制度の「制度あり」の割合は、「出生あり」は74.6%、「出生なし」は68.0%となっている(図6)。

また、この7年間に子どもが生まれた夫婦の妻の育児休業制度の利用状況をみると、「利用あり」は59.9%、「利用なし」は25.1%となっている。育児休業制度の利用の有無別に妻の出産後の就業状況をみると「利用あり」の「同一就業継続」は87.4%、「利用なし」の「同一就業継続」は52.6%となっている。(表5)

図6 この7年間の出生の状況別にみた妻の職場の仕事と子育ての両立のための制度等の状況



注: 1)集計対象は、9頁「参考」を参照。
2)「仕事と子育ての両立のための制度等」とは、「育児休業制度」「短時間勤務制度」「育児のための勤務時間の短縮等」について、勤め先の会社等において、自分の就業形態で利用可能な制度があるかどうか、ある場合は、利用にあたっての雰囲気はどうかを質問したものである。

表5 この7年間に子どもが生まれた夫婦の出産後の妻の仕事と子育ての両立のための制度等の利用の有無別にみた出産後の妻の就業継続の状況

(単位: %)

出産後の妻の仕事と子育ての両立のための制度等の利用の有無	出産後の妻の就業継続の状況				
	総数	同一就業継続	転職	離職	
育児休業制度	(100.0)	100.0	66.6	10.1	21.1
利用あり	(59.9)	100.0	87.4	10.7	0.2
利用なし	(25.1)	100.0	52.6	13.8	33.2
短時間勤務制度	(100.0)	100.0	66.6	10.1	21.1
利用あり	(13.6)	100.0	87.7	10.4	0.9
利用なし	(64.5)	100.0	74.6	11.7	12.3
育児のための勤務時間の短縮等	(100.0)	100.0	66.6	10.1	21.1
利用あり	(7.0)	100.0	80.0	18.2	1.8
利用なし	(69.7)	100.0	76.7	10.5	11.4

注: 1)集計対象は、9頁「参考」を参照。
2)「育児休業制度」「短時間勤務制度」「育児のための勤務時間の短縮等」には、仕事と子育ての両立のための制度等の利用の有無不詳を含む。
3)「総数」には、出産後の妻の就業継続の状況不詳を含む。